

微細物分析

遺物包含層や遺構内土壌の中に含まれている土器、石器などの遺物、木材、炭化材、種実、炭化種実などの取り出すことによって、遺構や遺跡の性格を知ることが目的として行われる調査である。土壌を水洗によって遺物を取り出す方法は古くから行われているが、当社ではこれまでの経験を生かして、土器、石器のみならず、環境復元の情報となり得る、木材や種実、昆虫などの自然遺物についても同時に抽出するのが特長である。

分析方法や抽出方法は、分析目的や土質を考慮して十分に吟味する。特に篩径は分析目的に対して様々な径をそろえており、鍛造薄片、管玉、石器製作遺構でみられる1mm程度の剥片などの微細遺物の回収や、イネや雑穀類などの炭化種実、燃料材として使われた炭化材の回収にも対応している。また、土質や遺物の脆弱性、土壌に含まれる遺物の濃度なども考慮しながら、限られた時間、予算の中で最大の成果を得られるよう分析方法を工夫する。さらに、当社専門スタッフによる抽出物の分類、同定にも対応している。特に、グリッドを設定し、層位、平面的な位置関係を考慮して水洗すると、遺跡や遺構の遺物の分布状況がわかり、現場で取り上げた遺物の結果を合わせることで、遺構や遺跡の性格を知る上で重要な情報となる。



水洗によって得られた遺跡内の炭化米の分布 (青→黄→赤と多くなる) Palyno No. 4より



水洗中



乾燥中



抽出中



計量・整理



抽出された土器



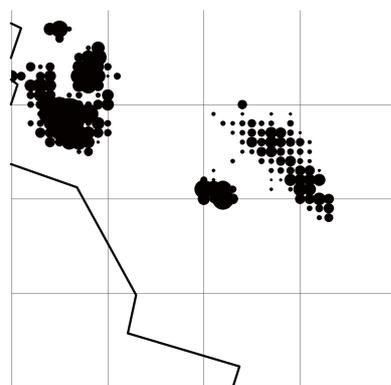
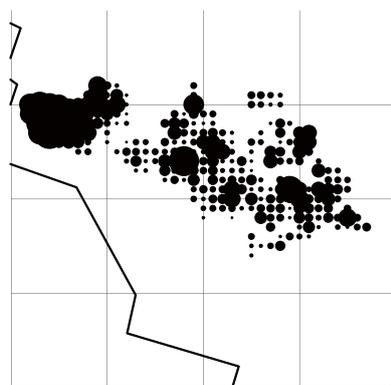
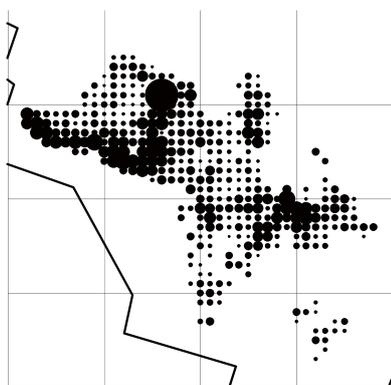
稲粃の破片



炭化米



鉄滓



水洗によって得られた遺跡内の土器分布(左より上層 中層 下層) 向方南遺跡(高野・田中, 2007)より